

2015年7月23日

本資料は7月23日にチューリッヒで発表されたメディアリリースの翻訳版です

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門では利益が改善、インベストメント・バンキング部門ではレバレッジ削減が引き続き順調に進捗

- ・ 公表純利益は11億CHF、継続ベース¹で前四半期比横ばい、前年同期比17%増加
- ・ 両部門共に、アジア太平洋地域で力強い業績
- ・ プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門では純利息収入、マージン、顧客活動が拡大。新規純資産は142億CHF
- ・ インベストメント・バンキング部門の収益は、株式事業とアドバイザリー事業の業績改善が債券事業収入の低迷によって相殺。費用の増加は主にリスク、規制及びコンプライアンス関連のインフラに対する投資によるもの
- ・ インベストメント・バンキング部門はレバレッジをさらに大幅に削減、目標達成に向けて順調に推移

2015年7月23日に発表されたクレディ・スイス・グループの2015年第2四半期の利益は改善し、両部門共に堅調な収益を計上しました。

最高経営責任者(CEO)のティージャン・ティアムは、次のように述べました。「第2四半期においてクレディ・スイス・グループの利益は改善しました。アジア太平洋地域は堅調な業績を達成しました。当グループのプライベート・バンキング部門とインベストメント・バンキング部門間の効果的な協力と連携は、アジア太平洋地域における利益の大幅な拡大につながりました。全体として見ると、当グループのウェルス・マネジメントにおいて業績が改善し、特にアジア太平洋地域とスイスでの数件の取り組みが実を結びつつあることにより、良好な規制資本利益率を生み出しました。第1四半期におけるアジア太平洋地域でのデジタル・プライベート・バンキング・プラットフォームの導入に続き、当四半期にはスイスで「クレディ・スイス・インベスト」という新たなアドバイザリー・サービスを開始しました。当グループのインベストメント・バンキングにおいては、株式事業とアドバイザリー事業の業績改善にもかかわらず、コストの増加が原因で減益となりました。当グループは、当四半期にインベストメント・バンキング部門のレバレッジ・エクスポージャーを削減しました。このプロセスは今後も継続していかなければなりません」。

ティアムはさらにこう続けています。「経営陣と私は戦略の詳細な見直しを通じて、いかにしてクレディ・スイス銀行を最善の方法で発展させていくかという評価に着手しています。今年末までには、収益性が高く持続可能な成長の達成を可能にする戦略とビジネスモデルを策定する予定です。この戦略とビジネスモデルにより、当グループの業績変動の低減と共に、最も厳しい環境においても当グループの特定の事業ポートフォリオの堅実な業績を確保することができるようになって考えています。新たな戦略は、当グループの第2四半期の業績で明らかとなった業績圧迫要因の幾つかにも対処できる見込みです。事業ポートフォリオを最適化することにより、資本集約度を低減し、景気サイクルを通じて余剰資本の創出と当グループの株主にとっての価値の最大化を目指していきます」。

最高財務責任者(CFO)のデービッド・メイザースは、次のように述べました。「クレディ・スイス・グループの当四半期の税引前利益は16億4,600万CHFに改善しました。両部門共に、アジア太平洋地域で力強い成長が見られました。当グループは、純利息収入の改善と顧客活動の拡大に牽引され、ウェルス・マネジメント・クライアント事業において90億CHFの新規純資産を呼び込み、18%増の税引前利益を計上しました」。

メイザースはさらにこう続けています。「資本とレバレッジの面では引き続き進展がありました。当グループの当四半期末時点のルックスルーCET1比率は10.3%と、2014年末時点の10.1%を上回りました。第2四半期には、四半期の堅調な利益性と2014年に実施した株式配当における想定を上回る申込による恩恵を享受しました。インベストメント・バンキング部門では上半期に810億米ドルのレバレッジ削減を達成し、ルックスルーのBISティア1レバレッジ比率は3.7%に上昇し、年末の目標達成に向けて引き続き順調に進捗しています」。

また、今後の見通しについては次のように述べています。「第3四半期に入っても、アジア太平洋地域、ウェルス・マネジメント・クライアント事業、株式事業のモメンタムが続いています。しかし、6月に見られた債券市場の低迷の傾向は7月に入っても続いています。第3四半期は通常、季節的に低迷が見られます」。

¹ 2014年第2四半期の米国の和解費用を除く。

主要コア業績ハイライト

	期/期末			増減率(%)		期/期末		
	2Q15	1Q15	2Q14	QoQ	YoY	6M15	6M14	YoY
公表業績 (単位:表示がないものは百万 CHF)								
純収益	6,941	6,673	6,433	4	8	13,614	12,902	6
継続事業からの税引前利益/(損失)	1,646	1,538	(370)	7	-	3,184	1,030	209
株主帰属純利益/(損失)	1,051	1,054	(700)	0	-	2,105	159	-
自己資本利益率(%)	10.0	9.9	(6.7)	-	-	9.9	0.8	-
戦略的事業業績 (単位:表示がないものは百万 CHF)								
純収益	6,758	6,590	6,309	3	7	13,348	12,839	4
継続事業からの税引前利益	1,812	1,822	1,775	(1)	2	3,634	3,719	(2)
株主帰属純利益	1,418	1,235	1,288	15	10	2,653	2,692	(1)
自己資本利益率(%)	13.9	12.0	13.0	-	-	13.0	13.5	-
非戦略的事業業績 (単位:百万 CHF)								
株主帰属純損失	(367)	(181)	(1,988)	103	(82)	(548)	(2,533)	(78)

注: 上記コア業績には、重要な経済的持分を持たない非支配持分は含まれておりません

公表業績の改善、非戦略的事業部門の縮小でさらなる進展

- 株主帰属純利益は 11 億 CHF

クレディ・スイス・グループの第 2 四半期のコア税引前利益は 16 億 4,600 万 CHF となりました。株主帰属純損益は、米国クロスボーダー案件をめぐる米国当局との和解に関連する訴訟費用 16 億 CHF が計上された前年同期の赤字に対して、当四半期は 10 億 5,100 万 CHF の黒字となりました。継続ベース、すなわち訴訟費用及び自社の信用スプレッドの変動による公正価値の調整の影響を除いたベースでの税引前利益は、前年同期比 15% 増となりました。自己資本利益率は前四半期から安定しており、10% であった。

公表コア純収益は前年同期比で増加しましたが、これはインベストメント・バンキング部門、プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門及びコーポレート・センターの戦略的事業の純収益の増加を反映したものです。公表営業費用は前年同期比で大幅に減少しましたが、これは訴訟費用の悪影響によるものです。非戦略的事業の税引前損失は 1 億 6,600 万 CHF に縮小しました。

クレディ・スイス・グループは、2013 年末から、公表業績に加えて戦略的事業と非戦略的事業を分けて開示してきました。戦略的事業の業績は、クレディ・スイス・グループが今後も注力すると計画している事業を網羅している一方で、非戦略的事業の業績は、縮小又は撤退を計画している事業を含んでいます。この追加的開示によって、投資家は非戦略的事業によるマイナスの影響を取り除いた事業動向を見ることができます。

戦略的事業コア業績－主要ハイライト

	期/期末			増減率(%)		期/期末		
	2Q15	1Q15	2Q14	QoQ	YoY	6M15	6M14	YoY
戦略的事業業績 (単位:百万 CHF)								
継続事業からの税引前利益/(損失)	1,812	1,822	1,775	(1)	2	3,634	3,719	(2)
うちプライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門	1,001	938	882	7	13	1,939	1,847	5
うちインベストメント・バンキング部門	910	1,115	1,042	(18)	(13)	2,025	2,170	(7)
うちコーポレート・センター部門	(99)	(231)	(149)	(57)	(34)	(330)	(298)	11

両部門における着実な力強い戦略的事業の業績

- ・ プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門の戦略的事業の業績には、ウェルス・マネジメント・クライアント事業とコーポレート & インスティテューショナル・クライアント事業が大きく貢献
- ・ インベストメント・バンキング部門の戦略的事業の業績は、株式事業とアドバイザリー事業の収益増加が後押し
- ・ 両部門共に、アジア太平洋地域の高成長が持続

2015年第2四半期の戦略的事業では、税引前利益が18億1,200万CHFと、前年同期比で若干増加しました。株主帰属純利益は14億1,800万CHFとなり、前年同期の12億8,800万CHFから10%増加しました。当四半期の戦略的事業の自己資本利益率は、景気サイクルを通じたクレディ・スイス・グループの目標値15%に対し、14%でした。

主要成長地域: クレディ・スイス・グループは引き続き主要成長地域における強固な地位を活用し、拡大しています。アジア太平洋地域は、プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門とインベストメント・バンキング部門の両方において引き続き成長の重大な牽引役となっています。当該地域の2015年上半期の税引前利益は前年同期比で2倍以上増加しました。プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門において、アジア太平洋地域の2015年上半期の新規純資産は前年同期比で13%増加しました。

プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門

プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門

	期/期末		増減率(%)		期/期末		増減率(%)	
	2Q15	1Q15	2Q14	QoQ	YoY	6M15	6M14	YoY
公表業績 (単位:百万 CHF)								
純収益	3,152	2,972	3,046	6	3	6,124	6,286	(3)
貸倒引当金繰入額	44	29	23	52	91	73	56	30
従業員報酬及び給付費用	1,248	1,229	1,235	2	1	2,477	2,525	(2)
その他の営業費用合計	923	880	2,537	5	(64)	1,803	3,442	(48)
営業費用合計	2,171	2,109	3,772	3	(42)	4,280	5,967	(28)
税引前利益/(損失)	937	834	(749)	12	-	1,771	263	-
指標(%)								
規制資本利益率	23.5	21.0	-	-	-	22.4	4.0	-
費用/収入比率	68.9	71.0	123.8	-	-	69.9	94.9	-
運用資産 (単位:十億 CHF)								
運用資産	1,355.7	1,374.0	1,329.7	(1.3)	2.0	1,355.7	1,329.7	2.0
新規純資産	14.2	17.0	10.1	(16.5)	40.6	31.2	23.8	31.1

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門-戦略的事業業績

	期/期末			増減率(%)		期/期末		
	2Q15	1Q15	2Q14	QoQ	YoY	6M15	6M14	増減率(%) YoY
戦略的事業業績 (単位:百万 CHF)								
純利息収入	1,096	981	954	12	15	2,077	1,917	8
経常手数料収益	1,082	1,067	1,136	1	(5)	2,149	2,275	(6)
トランザクション及びパフォーマンス・ベースの収益	925	922	865	0	7	1,847	1,784	4
その他の収益	(12)	0	(23)	-	(48)	(12)	(13)	(8)
純収益	3,091	2,970	2,932	4	5	6,061	5,963	2
貸倒引当金繰入額	31	25	30	24	3	56	47	19
営業費用合計	2,059	2,007	2,020	3	2	4,066	4,069	0
税引前利益	1,001	938	882	7	13	1,939	1,847	5
うちウェルス・マネジメント・クライアント事業	669	636	569	5	18	1,305	1,147	14
うちコーポレート&インスティテューショナル・クライアント事業	244	230	211	6	16	474	457	4
うちアセット・マネジメント事業	88	72	102	22	(14)	160	243	(34)
指標(%)								
規制資本利益率	25.8	24.3	28.0	-	-	25.2	29.8	-
費用/収入比率	66.6	67.6	68.9	-	-	67.1	68.2	-
新規純資産 (単位:十億 CHF)								
新規純資産	15.4	18.4	11.8	(16.3)	30.5	33.8	27.8	21.6

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門: マージンと利益率の改善

- ・ ウェルス・マネジメント・クライアント事業とコーポレート&インスティテューショナル・クライアント事業では、収益のモメンタムが継続
- ・ 新規純資産総額は主要成長地域における資産流入に牽引され、142 億 CHF

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の当四半期の純収益は 31 億 5,200 万 CHF、税引前利益は 9 億 3,700 万 CHF となりました。プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の戦略的事業の税引前利益は 10 億 100 万 CHF となりましたが、これはウェルス・マネジメント・クライアント事業とコーポレート&インスティテューショナル・クライアント事業からの堅調な貢献によるものですが、2014 年第 4 四半期のアセット・マネジメント事業の販売・事業再編策による収益減によって一部相殺されました。戦略的事業の規制資本利益率は 26%、費用/収入比率は 67%へと改善されました。

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の戦略的事業の当四半期の新規純資産は 154 億 CHF となりました。そのうち 90 億 CHF が、中華経済圏に牽引されたアジア太平洋地域からの力強い資産流入が続き、またスイスと欧州・中東・アフリカ(EMEA)も堅調に推移したことに伴うウェルス・マネジメント・クライアント事業の新規純資産によるものでした。スイスにおける新規資産の流入は、好調が続く超富裕層の寄与をうけました。当四半期におけるプライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の新規純資産総額は 142 億 CHF となりましたが、これには、低金利環境とそれに伴う預金金利変動に起因するスイスのコーポレート&インスティテューショナル・クライアント事業からの資産流出額 16 億 CHF が含まれていました。

ウェルス・マネジメント・クライアント事業のネット・マージンは 31 ベーシス・ポイント(bp)となりました。ネット・マージンは前年同期比で 3bp、前四半期比で 1bp それぞれ上昇しました。ウェルス・マネジメント・クライアント事業の純利息収入は、主に平均貸出残高の増加を背景に貸出金利の利ざやが上昇したことで改善しました。

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門では、リスク加重資産を 32 億 CHF、またレバレッジ・エクスポージャーを 97 億 CHF それぞれ削減しました。当四半期末時点のプライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の非戦略的事業のリスク加重資産は 45 億 CHF、レバレッジ・エクスポージャーは 39 億 CHF となり、予定より早く 2015 年末時点の目標に達しました。

非戦略的事業の公表税引前損失は、収益が前年同期比で減少したことを背景に、6,400 万 CHF となりました。営業費用は 1 億 1,200 万 CHF となりましたが、これは主に事業の継続的な撤退と、米国のクロスボーダー案件をめぐる米国当局との和解に関連する 6,600 万 CHF の費用によるものです。

戦略的施策: プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門は、当四半期もその成長施策を続け、成果を挙げました。投資運用一任契約プログラムの改訂に加え、2015年4月1日に、クレディ・スイス・グループは「クレディ・スイス・インベスト」という新たなアドバイザー・サービスを開始しました。同サービスは、スイス及び海外の一部市場において、顧客に対する柔軟性と透明性の改善に焦点を当てています。投資運用一任契約の普及率は、2014年末の17%から当四半期末には20%へと上昇し、販売の力強いモメンタムは今後も続く予想されます。

加えて、クレディ・スイス・グループは、超富裕層顧客に対する貸出プログラムの拡張に取り組んでいます。2013年における超富裕層顧客向けの貸出プログラム開始以来、貸出残高は43%増の400億CHFとなりました。当四半期の超富裕層顧客向け新規貸出の純増額は13億CHFとなり、プログラム開始以来の貸出の純増総額は85億CHFにのぼり、この重要な顧客層に対する貸出プログラムを拡大するというコミットメント通りになっています。

顧客間でリアルタイムのモバイル・バンキングがますます普及する中で、クレディ・スイス・グループのデジタル対応力が重要なポイントとなってきています。クレディ・スイス・グループは、既にオンライン・バンキングについて強力なプレゼンスを有するスイス本国市場において、プライベート・バンキングのモバイル・アプリケーションを更新しました。これは、アジア太平洋地域の顧客向けデジタルプラットフォームの開始に次ぐものです。この技術によって、顧客はいつでもどこでも、総合的なポートフォリオの情報はじめ、顧客自身の投資目的に特定した市場や調査の詳細な情報にアクセスが可能となります。また、顧客とリレーションシップ・マネジャーとの間、あるいは顧客と世界各地のクレディ・スイス・グループの専門家との間で、一層緊密な協力がより簡単に実現できます。クレディ・スイス・グループはデジタル・サービスを更新し続け、スイス及びアジア太平洋地域において今年から来年にかけて新たな機能を追加すること、さらに2016年には米州及び欧州・中東・アフリカ(EMEA)地域の顧客向けのテクノロジー展開することを計画しています。

インベストメント・バンキング部門

インベストメント・バンキング部門

	期/期末		増減率(%)		期/期末		増減率(%)	
	2Q15	1Q15	2Q14	QoQ	YoY	6M15	6M14	YoY
公表業績 (単位:百万 CHF)								
純収益	3,381	3,583	3,342	(6)	1	6,964	6,758	3
貸倒引当金繰入額	7	1	(5)	-	-	8	(5)	-
従業員報酬及び給付費用	1,545	1,552	1,499	0	3	3,097	3,020	3
その他の営業費用合計	1,214	1,085	1,096	12	11	2,299	2,164	6
営業費用合計	2,759	2,637	2,595	5	6	5,396	5,184	4
税引前利益	615	945	752	(35)	(18)	1,560	1,579	(1)
指標(%)								
規制資本利益率	9.9	14.7	12.3	-	-	12.3	13.0	-
費用/収入比率	81.6	73.6	77.6	-	-	77.5	76.7	-

インベストメント・バンキング部門－戦略的事業業績

	期／期末		増減率(%)		期／期末		増減率(%)	
	2Q15	1Q15	2Q14	QoQ	YoY	6M15	6M14	YoY
戦略的事業業績 (単位:百万 CHF)								
債券引受業務	467	332	483	41	(3)	799	951	(16)
株式引受業務	240	153	268	57	(10)	393	451	(13)
引受業務合計	707	485	751	46	(6)	1,192	1,402	(15)
アドバイザー及びその他の報酬	207	132	161	57	29	339	341	(1)
引受及びアドバイザー合計	914	617	912	48	0	1,531	1,743	(12)
債券販売及び取引	1,403	1,732	1,470	(19)	(5)	3,135	3,056	3
株式販売及び取引	1,320	1,344	1,119	(2)	18	2,664	2,325	15
販売及び取引合計	2,723	3,076	2,589	(11)	5	5,799	5,381	8
その他	(88)	(67)	(121)	31	(27)	(155)	(204)	(24)
純収益	3,549	3,626	3,380	(2)	5	7,175	6,920	4
貸倒引当金繰入額	7	1	(5)	-	-	8	(5)	-
営業費用合計	2,632	2,510	2,343	5	12	5,142	4,755	8
税引前利益	910	1,115	1,042	(18)	(13)	2,025	2,170	(7)
指標(%)								
規制資本利益率	15.6	18.6	18.7	-	-	17.1	19.8	-
費用／収入比率	74.2	69.2	69.3	-	-	71.7	68.7	-

インベストメント・バンキング部門: 戦略的事業の力強い収益

- ・ 収益は、株式事業及びアドバイザー事業の好調なパフォーマンスが牽引するも、債券事業の業績の低下によって相殺
- ・ 利益は前年同期比減少、収益の増加は、主にリスク、規制及びコンプライアンスのインフラストラクチャーに対する投資による費用の増加によって相殺
- ・ 戦略的事業と非戦略的事業の両方にわたり、引き続きレバレッジ・エクスポージャー低下

インベストメント・バンキング部門の当四半期の純収益は 33 億 8,100 万 CHF、税引前利益は 6 億 1,500 万 CHF となりました。当四半期の間、インベストメント・バンキング部門の実績はスイスフランの対米ドル平均為替が下落した影響を受けました。これは、収益にはプラスの効果となりましたが、費用面ではマイナスの効果となりました。収益を前年同期比でみると、スイスフラン建てで若干増加しており、特にアジア太平洋地域の株式業務及びアドバイザー業務の好調な業績を反映しています。営業費用を前年同期比でみると、スイスフラン建てでは 6%、米ドル建てでは 1%増加しており、これは主にリスク、規制及びコンプライアンスのインフラストラクチャーに対する投資が要因でした。

2015 年上半期中に戦略的事業と非戦略的事業の両方にわたってレバレッジ・エクスポージャーが大幅に改善し、810 億米ドル減少しました。当四半期にレバレッジ・エクスポージャーは 220 億米ドル減少して 6,750 億米ドルとなっており、対して 2015 年末のインベストメント・バンキング部門の目標は 6,000 億～6,200 億米ドルです。米ドル建てでは、計算方法の変更と外国為替の影響によって、リスク加重資産は前四半期比で若干増加しました。

戦略的事業の税引前利益は 9 億 1,000 万 CHF で、上記の営業費用増加が収益の増加を相殺したため、前年同期比で 13% 減少しました。債券の販売及び取引業務の収益は、6 月に市場が軟化したことで、業務環境がリスク回避型となったため、好調だった前年同期と比較して減少しました。株式の販売及び取引業務の収益は、主にアジア太平洋地域の活発化に牽引されて増加しました。引受及びアドバイザー業務では、アドバイザー業務の収益の増加が債券引受業務の収益の減少を相殺して、前年同期比横ばいとなりました。前四半期比では、引受及びアドバイザー業務の収益が、M&A と債券引受業務及び株式引受業務全般における顧客の活動改善を反映して増加しました。

インベストメント・バンキング部門の当四半期の非戦略的事業は、税引前損失が 2 億 9,500 万 CHF、純収益が 1 億 6,800 万 CHF のマイナスとなりました。前年同期比では、純収益のマイナス額は拡大しましたが、訴訟関連費用引当金の減少によって営業費用合計は減少しました。

資本、レバレッジ及び費用

資本・レバレッジ指標

期末現在	段階的实施			ルクスルー		
	2Q15	1Q15	4Q14	2Q15	1Q15	4Q14
BIS 基準資本比率(%)						
CET1 比率	13.9	13.8	14.9	10.3	10.0	10.1
ティア 1 比率	16.7	16.5	17.1	14.3	14.0	14.0
自己資本比率	20.1	20.0	20.8	16.6	16.4	16.5
レバレッジ指標(表示がないものは%)						
レバレッジ・エクスポージャー(十億 CHF)	1,067.4	1,108.6	1,157.6	1,061.8	1,102.7	1,149.7
BIS CET1 レバレッジ比率	3.7	3.6	3.7	2.7	2.6	2.5
BIS ティア 1 レバレッジ比率	4.4	4.3	4.3	3.7	3.6	3.5
スイス国内レバレッジ比率	5.3	5.2	5.2	4.3	4.2	4.1

レバレッジのさらなる削減

- レバレッジ・エクスポージャー削減における持続的な進捗、年末の目標に向けて順調に推移
- ルクスルーCET 1 比率は 10.3%

近年、規制当局は、より厳しいレバレッジ要件において求められる規制資本の非加重資産にますますその重点を置くようになってきています。クレディ・スイス・グループはこれらの一段と厳格な要件を遵守するために、レバレッジ・エクスポージャーを大幅に削減する計画を策定しました。

クレディ・スイス・グループは 2015 年末のレバレッジ・エクスポージャー目標を、為替調整後ベースで 9,400 億～9,600 億 CHF としています。クレディ・スイス・グループは 2015 年末の目標を、ルクスルーのスイス国内レバレッジ比率で 4.5%、ルクスルーの BIS ティア 1 レバレッジ比率で約 4.0%、そのうち CET 1 比率で約 3.0%としています。

当四半期中に、クレディ・スイス・グループはレバレッジ・エクスポージャーをさらに 4%削減し 1 兆 670 億 CHF としました。当四半期末のルクスルーのスイス国内レバレッジ比率は 4.3%、ルクスルーの BIS ティア 1 レバレッジ比率は 3.7%、そのうち CET 1 比率は 2.7%となりました。

銀行の資本状況を見る上でもう一つの重要な指標は、ルクスルーの CET 1 比率であり、これは 2019 年要件を完全に適用したものです。当四半期末時点のクレディ・スイス・グループのルクスルーCET 1 比率は 10.3%で、2014 年末の 10.1%から上昇しています。

2011 年以降で 35 億 CHF のコスト削減を達成

- 2015 年末のコスト削減目標である約 40 億 CHF を継続

2011 年の費用削減プログラム開始から、クレディ・スイス・グループは、当四半期末時点で約 35 億 CHF のコスト削減を達成しました。プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門とインフラストラクチャー費用プログラムにおいては、年末目標を達成するペースで推移しています。しかしインベストメント・バンキング部門は、間接税負担と収益関連経費増という直接費の増加をもたらす逆風に直面しました。クレディ・スイス・グループは、2015 年末までの累計で約 40 億 CHF のコスト削減に向け、年末にかけてさらなるコスト削減努力を続けてまいります。

経営陣は現在、戦略の徹底的な評価の過程にあり、その結果をクレディ・スイス・グループは年末までに発表する予定です。この過程が終了した時点で、コスト削減計画と上記の目標が変更される可能性があります。